

2021年度Sセメスター 法学政治学研究科・法学部の演習科目の実施形態について

- 2021年度Sセメスターにおける法学政治学研究科・法学部の授業のうち、演習科目については、オンラインで実施する科目（オンライン形式）、教室で対面して実施する科目（対面形式）、教室で対面して実施するが、オンラインでの参加も可能とする科目（ハイブリッド形式）があるので、履修に際しては、下記の一覧表を参照すること。また、対面で実施（初回オリエンテーション含む）する演習科目の演習室または教室については追って掲示するので、開講日までに確認すること（なお、対面形式の科目については、今後の感染状況や教室の収容定員等の関係で、ハイブリッド形式に変更される可能性がある）。
- 「初回のみ全員対面でオリエンテーション」欄で「実施する」となっている演習について、対面での参加が困難である場合には演習申込時にその旨を申告しておくこと。ただし、総合法政専攻の学生で授業担当教員の連絡先がわからない場合は、指導教員に連絡先を確認すること。
- なお、Sセメスターの講義科目については、オンライン方式を中心とするが、一部の科目については、ハイブリッド方式や対面方式の学修機会を採り入れる予定である。詳細については、3月22日（月）頃までに掲示する。

担当教員名	演習科目名	① オンライン形式	② 対面形式	③ ハイブリッド形式	④ その他 (具体的に記入)	①～④を併用する場合の授業形態のスケジュール	①③の場合初回のみ全員対面オリエンテーション
小島慎司	演習（憲法）	○					実施しない
田中 亘	演習（商法）		○	○		安全性の基準が確保される限度で、対面形式またはハイブリッド形式で実施	
藤田友敬	演習（商法）			○			実施しない
加藤貴仁	演習（商法）	○		○		当初はオンライン形式で開始する。	実施しない
石川博康	演習（民法）	○					実施しない
森田宏樹	演習（民法）	○					実施しない
森田修	演習（民法）	○					実施しない
小粥太郎	演習（民法）	○					実施しない
太田匡彦	演習（行政法）	○					実施しない
垣内秀介	演習（民事訴訟法） ドイツ民事訴訟法文献講読		○		対面を基本とするが、履修者の希望に応じ、ハイブリッドまたはオンラインのみとすることもあり得る。		
垣内秀介	演習（民事訴訟法） 民事訴訟法判例研究		○		対面を基本とするが、履修者の希望に応じ、ハイブリッドまたはオンラインのみとすることもあり得る。		
菱田雄郷	演習（民事訴訟法）	○					実施する
原悦子	演習（民事実務）	○	○	○		原則対面で実施するが、人数に応じてハイブリッド方式を採用する（なお、初回は全員対面で実施する。また、講義の回については、完全オンラインで実施する可能性もある）。	実施する
笠原康弘	演習（民事実務）		○	○	原則として対面としつつ、新型コロナウイルスの感染拡大状況に応じて、半分は対面、半分はオンラインなど柔軟に	初回は全員対面を想定。その後も原則として全員対面形式を想定しているが、感染拡大状況に応じて、半数はオンライン対応などに移行する可能性あり	
神山啓史 岩本憲武	演習（刑事実務）		○	○		履修者が少人数であれば原則として対面形式として学生の要望や各回の内容に応じてハイブリッド式も併用する	実施する
唐木智規 煙山 明	演習（刑事実務）		○	○		初回のオリエンテーション及びゲスト講義の回（4回程度）は全員対面方式とする。それ以外の回（8回程度）はハイブリッド形式とし、その回の発表担当者は対面とする。いずれも対面による出席が困難な者にはオンライン参加を認めるので、事前に教員に相談されたい。	
樋口亮介	演習（刑事政策）	○		○		基本的に①とし、感染状況をみながら③への移行をゼミ内で相談します	実施しない
大淵哲也	演習（知的財産法）	○			原則としてオンラインのみを予定しているが、学生の強い要望があればどこかで1回くらい対面も検討する。		実施しない
水口洋介 三上安雄	演習（労働法）		○				
神吉知郁子	演習（労働法：イギリス労働法研究）	○		○			実施する
荒木尚志	演習（労働法：比較労働法）	○			参加者の人数や参加者の意向を踏まえ、対面を実施することが望ましいと判断した場合は対面式を取り入れる。		実施しない
増井良啓	演習(租税法)	○					実施する
神山弘行	演習（租税法）	○		○		通常①オンライン開催とする。状況に応じて③への移行を検討する。	実施しない
藤谷武史	演習（財政法）	○					実施する

担当教員名	演習科目名	① オンライン形式	② 対面形式	③ ハイブリッド形式	④ その他 (具体的に記入)	①～④を併用する場合の授業形態のスケジュール	①③の場合初回のみ全員対面オリエンテーション
中谷和弘	演習 (国際法)	○					実施しない
森肇志	演習 (国際法)	○		○		初回は全員オンライン参加とする。2回目以降は諸事情を考慮しながらハイブリッド形式による開催を図る。	実施しない
原田央	演習 (外国語文献講読)	○					実施しない
田口 正樹	演習 (ヨーロッパ法制史入門)	○					実施しない
齋藤哲志	演習 (現代フランス法)	○	○	○		可能な限り対面形式で実施するが、難しい場合はハイブリッド、オンラインに移行する。	
伊藤 洋一	演習 (ヨーロッパ法と国内法)		○				
後藤 他	演習 (東アジア比較社会法：中国法・香港法・韓国法・台湾法)			○	集中講義のため詳細は5月頃に決定。初回は対面で実施する予定。		
白石忠志 和田俊憲	演習 (法教育)	○				5月中旬までは①オンラインのみの形式とし、それ以後は状況を見て判断します。	実施しない
平野温郎	演習 (商法：Asian Business Law Seminar1)	○		○		原則①だが、シンガポール国立大学の講師が入国できる場合は③で実施する。	実施しない
Dimitri Vanoverbeke	演習 (法社会学)		○		最初は数回オンライン・その後対面形式	日本へ入国・隔離期間が終了次第対面式で実施・それまではオンライン形式	
松原健太郎 Bryan Tiojanco	演習 (比較法)	○		○		オンラインを基本とするが、参加者と相談の上、ハイブリッド型を組み込む場合もある。	実施しない
石川健治	演習 (憲法)	○					実施しない